2019

進路指導・Q&A

■公立中学生■

すべての生徒に情熱指導

教育指導研究会

〒277-0832 千葉県柏市北柏 3-1-1　昭信ビル 2 号館 4F・5F（受付 4F）

http://kyouken.net　mail:info@kyouken.net

受付専用 **0120-66-5413**

受付時間 平日 10:00～20:00

土日 13:00～20:00

生徒指導・進路指導

1. 生徒指導　塾は勉強だけ教えていればよいのですか？

生徒は褒められ、叱られ成長します。

だから、塾は勉強だけ教えていればよいとは考えません。

塾は「勉強を教える場」です。しかし、私たちは「勉強だけを教えていれば良い」とは考えていません。なぜなら、基本的な生活習慣が身についていない子供たちには効果的な教科指導ができず、その成果も上がらないからです。
「個性」を伸ばす前にまずこれらを身につけることが先だと考えています。

当会では必要に応じて生徒と面談を行うことで、普段からコミュニケーションをとり、毅然とした態度で生活指導を含めた学習指導を実践しています。これらは長年「しっかりとした指導」と評価されてきました。

2. 父母面談　担当講師と一対一の個別面談

成績、学習指導状況、高校選択の方法や入試情報などが主なテーマです。
尚、定期面談の他、希望者は随時個人面談を実施しています。

面談の日程と主なテーマ

実施時期		内　　容
第 1 回	6 月（全学年）	・塾の雰囲気、授業や補習に慣れたか ・学校生活（特に部活動との両立）について ・当会の指導方針を再度確認 ・入試情報、受験についての予備知識 ・志望校の選び方について（目標校の決定）
第 2 回	10 月中旬～11 月中旬 （受験生）	・模試の偏差値と学校成績について ・新年度入試要項について ・志望校選択⇒受験校の決定
第 3 回	1 月中旬～2 月中旬頃 （1,2 年生のみ）	・進級にあたって ・新年度の入試動向 ・志望校選択

※中途入会の場合には上記内容とは異なる場合があります。

3. 進路指導　合格可能性の判断は特に重要

受験生の個人面談は進路指導（高校の選択）が中心となります。
偏った判断に陥らないよう、生徒の将来を考慮した進路指導を行っております。

学校のテストの結果が悪いという理由で、能力とかけ離れた高校を志望する生徒がいますが、これでは的確な高校選択をしているとは言えません。
大切なことは以下の 3 点です。
① 学校の定期テストと入学試験は違うことを認識する
② 1 種類のテストデータだけで判断しない
③ 模擬試験は複数回受験して平均的に実力を判断する
④ 偏差値などの数字に出てこない生徒の能力を見極める

「確実に合格する」ため安易に志望校を下げるのではなく、できる限りの努力をさせながら、その生徒の将来もよく考慮し最善策をとる・・・。
このようなプロの進路指導を実践しています。

■Column（コラム）

◆合格実績とは？

偏差値の高い高校へ合格した生徒が必ずしも満足しているとは限りません。
偏差値がさほど高くない高校でも大満足ということもあります。

早稲田や慶応、国立大学附属などの難関校に入れるのも実績ならば、オール２の生徒をオール３にするのもまたすばらしい実績です。
我々は開校以来、この２つの実績をあげるべく努力を重ねて参りました。しかし、後者の実績は「相当な労力が必要」な割には充分に評価されていないのが残念でなりません。私たちは、やる気のない生徒を叱ることはあっても決して見捨てるようなことはしません。生徒を辞めさせないために、「やさしく」「楽しく」指導することを信条としている塾も少なくありませんが、こんなところは浄化されるべきと考えています。

◆ここまでしている進路指導！！

卒業生のご父母から頂いた手紙

私立高校を合計四校受験しました。始めの高校は合格しましたが、次が不合格だったので大変悩みました。本人の強い希望もありそのまま受験させましたが、その選択のおかげで最良の結果が得られて大変満足しています。中学校の三者面談では選択校を頭から否定され、下げるように言われました。親もすっかり自信をなくしてどうして良いのかわからなくなりましたが、貴会の先生と良く相談し良い方向で決めることができました。

私達のまわりには多くの塾があります。その中で子供にとって一番良い塾を探すのは大変重要なことであり、かつ困難なことであるといえます。そういう状態の中で貴会にめぐり合えたことは幸運であったと思えます。2年生の後半には子供のやる気がなく悩んだこともありましたが、継続させて良かったと思います。一番感謝していることは、どんな学力の子でも最後までしっかりと指導していただけた点です。これは他の塾には見られない部分ではないでしょうか。頭の良い子だけを導くことは非常に簡単なことであるが、そうでない場合には何倍もの時間・労力がかかることです。本当に有り難く思っています。

私立駒込高校合格

◆優秀な生徒はどこの塾でも大切にされる

「公立トップ校を目指しそれ以上の難関校も狙う生徒」はどの塾でも最上位のクラスに所属します。塾側も全力投球で指導し決して労力を惜しみません。次に「定期テスト結果は350点～400点で公立上位校を目指す生徒」は次のクラスに所属します。ここは急成長する生徒もいるため決して手の抜けないクラスです。そして残りの生徒はそれ以降のクラスになります。

このクラスは「その他大勢」の「寄り合い所帯」になりがちで、多くの塾は「手を抜いた」指導をします。補習もしなければ生徒に対して注意すらもしなくなります。

基礎レベルの生徒をしっかり指導できる塾はめったにありません。
成果はなかなか目に見えて現れてこないにもかかわらず、莫大な時間と労力を必要とするからです。

多くの塾の広告では「きめ細かさ」「めんどう見のよさ」を歌い文句にしていますが実践しているところはほとんどないのが現状です。

当会は、「生徒がやめなければそれでいい」などと考えるところとは根本的に熱意や信念が違います。

当教育指導研究会が30年以上の長きにわたって、基礎レベルの生徒にも全力で指導していることは、他塾では考えられないほどの労力を使っていると同時に、どのような生徒に対しても手を抜いていない証です。

Q&A

1. Question　クラス人数は？

クラス人数は何人くらいですか？　少人数と伺ったのですが…。

Answer

定員が 6 人から 20 人前後の少人数制です。ただし、当会の少人数制は人数だけによるものではありません。

人数が少なければ少人数制だと勘違いしている塾が多いようです。
少ない人数を相手に教えるだけならば、家庭教師と変わりません。
少人数制において、最も大切なことは・・・・

①指導者が、生徒の学力を完全に把握し、定着していない生徒には完璧にフォローできること。
②問題を解く充実感・受験に対する目標意識等を全員に持たせること。

以上の２点です。
当会では生徒のレベルを考えて、クラス毎に定員を変えるなどの工夫をし、この２点をしっかりと確実に実行しています。

2. Question　授業の雰囲気は？

授業の雰囲気はどうですか？　楽しいですか？

■■ *Answer* ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

「個々の私語で授業に集中できない」等ということは、全くありません。
厳しくすべき時には厳しく、楽しく話すときは楽しく…。けじめのある授業です。

「生徒が塾を辞めないように」という考えで、私語や飲食を許し、生徒に迎合するような指導・楽しさだけを追求する指導は一切行いません。

　この文章だけを読むと「とても厳しい塾」と感じる方もいらっしゃるかもしれません（事実、当会の案内を読み、説明を聞いた人がそう思ったようです）。
　私たちはけじめのある授業をしているのです。授業には笑いもあります。決して、ガチガチの堅い雰囲気ではありません。
　「自主性を重んじる」という名目で、生徒を「放任」するような指導は絶対に行いません。どの授業も、「入会した生徒全員に確実に学力をつけさせる」という当会の開校以来の決意を持って、講師全員が全力で指導しています。

3. Question　授業についていけるか不安です。

授業についていくためにはどれくらいの学力が必要ですか？

Answer

「どのクラスの生徒に対してもきちんと指導する」
この理念を信じてください。「授業についていけない」ことはありません。

生徒によって理解度に差があるのは当然のことです。当会では、その差を埋めるために積極的に補習を行っております。
授業で理解できなかった場合、終了後１時間近く個人指導をすることもあります。本人に「やる気」さえあれば、最後までしっかり指導します。ご家庭でもご協力をお願い致します。

●個人指導/個別指導/navi
集団授業の雰囲気を好まない生徒(自分のわからない部分のみを中心に授業をしたい生徒)や、著しく学習が遅れている生徒に対しては、個人指導や個別指導をお勧めしております。
たとえば、中学二年生の方程式の計算を学習する時期に、正負の数の計算法則（中学一年学習範囲）をしらないような場合は、個人指導をお勧めする場合があります。また、計算法則は理解しているが、練習不足のため正確に解けない場合は navi をお勧めいたします。
できる限り、補習で対応いたしますが、より効果があがる方法をご提案差し上げます。

●私たちは、いかなるクラスの生徒たちに対しても手を抜きません。したがって、退塾者が極端に少ない塾です。
基礎・補習レベルからトップレベルまで、すべての生徒を完璧に指導できる塾はめったにありません。なぜなら、そのためには莫大な時間と労力を必要とするからです。
塾の広告を見ると、きめ細かさ、めんどう見のよさを謳う文句にしている塾も多いようですが、その内部では恐ろしいほど“合理的な処理”が行われているのです。この「合理的な処理」をされていることに気づいた人たちは、塾をやめていきます。その意味では中途退塾者の数が、その塾の内情を物語るといっても過言ではありません。
当会の退塾者は年間を通じて数名程度（そのほとんどが引越しなどの理由によります）であり、この数字が、どの生徒に対してもしっかりとした指導をしていることを表しています。

4. Question　家庭学習の時間は？

一日どれくらい勉強すればいいのですか？入会してからの勉強は大変ですか？

Answer

成績を上げるために重要なことは家庭学習で定着させることです。ところが家庭学習をまったくしない人もいます。正しい家庭学習の方法を身につけるまでには多少の努力は必要です。
当会の宿題はあくまでもレベルに合った内容・分量を考えて出題していますので、次の授業までに確実にこなす目安は 1 教科 30～40 分くらいです。

●食事と同じ！消化・吸収できる適量が大切！！

授業で新しいことを学び、その内容を家庭で復習し、身につける。

これが「勉強の仕方」です。身につけるまでには、個人的な差はありますが、ある程度の時間を必要とするはずです。もし、次の授業を受けるまでに何もしなくても許される塾ならば、学習効果はほとんど期待できません。塾は授業のみならず家庭学習をしっかり管理、指導することにより、その真価を発揮するのです。しかし、ただヤミクモに、たくさんの宿題・難しい問題ばかりを与えたのでは、混乱し逆効果になりかねません。あくまでも学力に合ったレベル、そして必要かつ十分な分量でなくてはなりません。

当会では以上の点を踏まえた上で指導をしておりますので、各クラスにより課題の内容・分量は異なります。個々それにかかる時間は異なりますが、平均しての目安は 1 教科 30 分から 40 分くらいです。また、決められたことをやらない生徒に対しては、責任を持って授業後等にフォローします。

現在、入会しているどの生徒達も、知らず知らずに最低限の学習習慣が身についてきています。

●どうしても家庭学習ができない！！

とは言うものの、「家庭では学習ができない」生徒がいるのも事実です。授業内容は理解するが宿題をほとんどしない・・。塾の授業と補習時間しか勉強しない・・。このような場合、navi をお勧めしております。同じ悩みを持つ多くの生徒達が、抜群の効果をあげています。

5. Question　部活動との両立は？

部活や他の習い事をしているのですが両立はできますか？

Answer

入会しているほとんどの生徒は部活動に所属し、そして、両立しています。両立するために注意してほしいことは、次の二点です。

①授業はなるべく休まない。
②宿題は忘れずにする。

居残り学習には積極的に参加してください。

中学生は高校生や大学生に比べて忙しいといわれています。それは、部活も含めて、学校生活にかなりの時間がとられるからです。当会の通常授業の宿題は“Q4”で述べたように、“適量”で“無駄のない出題”なので、時間的にも余裕があり、十分に両立できます。

●しかし、難関校を目指すなら…
目標とする高校がかなり高いレベルにあるのなら、多少部活やほかの習い事を犠牲にしても、勉強に打ち込む必要があります。入試の出題レベルが高いため、それなりの演習時間が必要となるからです。

●今まで、ほとんど勉強してこなかった人は…
「学力の遅れが著しい生徒」や「小学校の範囲から復習が必要な生徒」の場合はどうでしょうか？
この様な生徒が成績の向上を目指す場合、「部活は完璧に出席していきたい。そして学力も充分につけたい。」と、全てを希望するのは、ちょっと難しいことです。
なぜなら、学力をつけるためには、家庭学習の時間を充分にとり、その上、個人的な補習も必要だからです。塾と生徒本人の努力があってはじめて効果が現れると考えます。私たちは、「どんな生徒でも安易に成績が上がる」というようなことはいいません。

6. Question　他塾との違いは？

教研は他の塾とどのようなところが違うのですか？

■■ *Answer* ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

当会のシステムに沿ってきちんと学習した生徒は、全員必ず学力がつきます。お預かりした以上はすべての生徒に対して責任を持ち、徹底して指導させて頂きます。そこが他塾との大きな違いです。

●お預かりしたすべての生徒に全力で指導する。それが教育指導研究会です。

“どこかの近い塾に入れておけば…”、“ちょっと名の知れた大手の塾に通わせておけば安心だ…”といった安易な考えは禁物です。誰でも容易に合格させられるような謳い文句を並べ、誇大広告にて注目をひく塾などは論外です。

手のかからない数人の生徒達だけを中心に教え、ある程度の学校へ合格させることなどは造作もないことです。実力があって、手のかからない生徒の陰には、実力を持ちながらにして、花を咲かせることなく終わっていった生徒が数多くいるのです。

もう少し入念な指導をしてあげれば、持っている能力を十分に発揮し、何倍もの実力をつけることができたであろう生徒は、そういった体制の中で犠牲者となっているのです。まさしく“間引きの法則”といえるでしょう。

当会ではお預かりした生徒を「学力が低い」等という理由で、見捨てたり放っておくようなことは致しません。地味でも、徹底的な指導をしていく…。それが**教育指導研究会**です。